



展示には、昨年秋に発足した日本ブルガリア協会（本部・東京）の県山村支部（石川准一支部長）が協力。同国新体操チークの華やかな演技を捉えたパネルのほか、交流を通じて受け取った木製の壁掛け、美しいトロヤン焼の皿などが並ぶ。絵とおもてなしの造語による「えもてなしプロジェクト」により、関わった人を一枚の絵に収めた作品も飾った。ブルガリア大統領の名刺もある。

喫茶コーナーは15日から営業し、17日から30日

# 見て食べて心華やぐ

村山市の東沢バラ公園内にあるバラ交流館が15日、今季の営業を始める。東京五輪・パラリンピックに向けた同市のホストタウン対象国ブルガリアについて紹介する展示物を一新。喫茶コーナーでは、間もなく公園内の桜が満開となることから、17日から限定スイーツを提供する。

## 村山 バラ交流館 きよつから

### ブルガリア展一新 限定スイーツ

まで2種類のスイーツを限定販売。「桜パフェ」（550円）は抹茶ゼリーに桜味のソフトクリーミム、3色団子、生クリーミムが載っている。「桜ラテ」（350円）は温かいか冷たいかを選ぶことができ、桜の風味がするミルクに生クリームを載せ、桜のフレークをかけている。公園を眺めながら味わうことができる。

喫茶館は午前9時半～午後4時。問い合わせは同館0237（55）8880。

（鈴木大和）



期間限定で販売する桜ラテ（左）と桜パフェ

ブルガリアの新体操選手や同国との交流の様子をパネルなどで紹介しているバラ交流館  
II村山市・東沢バラ公園